



5月の園だより

令和8年4月24日

杉並区立成田西子供園

園長 齋藤 由美

『子どもたちの“やってみたい”を大切に』

副園長 小森 三奈子

木々の新緑がまぶしい季節になりました。園庭では、爽やかな風を受けて、鯉のぼりが元気いっぱい泳いでいます。入園してから3週間が経ち、それぞれの学級で新しい生活が始まりました。

3歳児は入園当初、おうちの方と離れることに不安そうな表情を見せていた子が、つないだ手を自分から離して保育室へ向かうようになってきました。一方、最初は泣かずに登園していた子が、お家の方と離れがたく涙する姿も見られるようになってきました。どちらの幼児も、少しずつ周りの様子が見えてきたから現れる姿であり、これも一つの成長です。登園時、離れがたい子も、お家の方が帰ると、しばらくは保育者と一緒に過ごすことで安心し、やがて身近にある遊具や、先生・子どもたちがしている楽しそうなことが目に留まり、動き出します。そして、お迎えの頃には「もっと遊びたかった。」という声も聞かれます。保育者は、幼児の表情や言動から幼児一人ひとりの思いを丁寧に読み取り、子供園で、“やってみたい”というお気に入りの遊びや安心できる場を見つけることができるように支えています。

4歳児は、新しい保育室や園庭、テラス等で、それぞれがやりたい遊びや場を見つけて遊んでいます。去年の年中組がしていたことを思い出し、自らスタンドを組み合わせたゲームボックスや巧技台を使ったりして、遊びに必要な場を作っています。また、虫好きな子が多かったため、保育者は幼児が自然への興味・関心がさらに広がるよう、4歳児みんなを連れて子供園の中2階にある【むしはなひろば】に行き自然に触れる機会をつくりました。（昨年度より、子供園の職員によっての自然環境づくりにも取り組み始めています。）むしはなひろばで春の自然を見つけたり触れたりしたことがきっかけとなり、園庭での草花や虫に、より一層興味をもって関わる姿が見られています。また、友達がダンゴムシを手に乗せて見ている姿に刺激を受けて、「かわいいね。」と愛着を感じ「僕も手に乗せてみたい。」と手に乗せたり、動きをよく見たりして楽しんでいます。

5歳児は、昨年度末に年長いるか組から引き継いだ当番活動を友達と張り切って行っています。「今日はお休み調べだよ。」「早く水やりに行こう!」「(モルモットの) シロくん、元気かな?」と、と声を掛け合いながら意欲的に生活を進めている様子には、年長組になった喜びや張り切る気持ちが溢れています。また、歓迎会では、入園した3歳児に手遊びをしてくれたり、チョウチョウのプレゼントをつくって渡してくれたり、避難訓練では防災頭巾の被り方を教えてくれたりと、年長児として年下の幼児に優しく接する姿は頼もしいです。これらの活動は、全て、年長組の子どもたちからの“やってみたい”という思いから始まっています。そこで、保育者は、子どもたちが成長した自分に気付き自己有用感を感じられるよう、幼児の考えを受け止め認めたり、思いに共感したりしています。

遊びや活動の内容は異なりますが、どの学年でも、保育者は子どもたちの“面白そう”“やってみたい”という思いを大事にしながら幼児の育ちに応じた保育をしています。

張り切って遊びや生活に取り組んでいる子どもたちですが、5月の連休前後は、疲れが出てくる時期です。連休明けにも元気に登園して遊ぶことができるよう、ご協力よろしくお願いいたします。

☆子どもたちの様子と今月のねらい・おすすめ絵本☆

3 歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

入園してから 1 カ月、毎日、元気いっぱいに過ごしています。少しずつ、園にも慣れてきて面白そうな場所があるとすぐに行ってみて「何しているの?」「ぼくもやりたい。」と集まってくることもあります。また、汽車、B ブロック、チョウチョウ作り、砂場、お花の水やりなどやりたいものに夢中になって遊ぶ姿もあります。ダンゴムシ、テントウムシ、草花にも興味津々です。

身支度は、先生と一緒にやりながら「やってみたらできた。」という気持ちをもつことができるように保育者が見守ったり、励ましたりしています。

✿今月のねらい✿

○自分のしたいことを見付けて遊んだり、気に入った遊びを繰り返したりすることを楽しむ。

○保育者に親しみをもち、触れ合ったり一緒に遊んだりすることを楽しむ。

○子供園での生活の仕方が分かり、自分のことを自分でやってみようとする。

◆おすすめ絵本◆

『そうくんのさんぽ』 なかのひろたか・作/絵 福音館書店

『せっせっせ』 花山かずみ・作/絵 福音館書店

4 歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

進級して約3週間。ぺんぎん組での過ごし方や新しい担任にも少しずつ慣れ、一緒にいると安心できる友達やこれは楽しそうだなと思う遊びに、自分から関わり、やりたいことを見付けていく姿が見られるようになりました。一方で、進級したうれしさに張り切っていた姿から、少し日常に戻り、「こうしたいのに!」「まだ片付けたくない。」など、自分の思いを表す姿も見られます。

長い連休もある5月は、疲れが出てくる頃です。積み木でお家や基地を作って友達と同じ場で過ごしたり、製作コーナーで色々な素材を組み合わせて、思いついたものをつくったりして、「楽しかったから、明日もまたやりたい!」と思えるような経験を重ねていきます。また、散歩先や園庭で、虫や花に触れる面白さも感じられるようにしていきます。

✿今月のねらい✿

○身近な自然に興味をもって触れ、遊びに使ったり、感触を楽しんだりする。

○保育者や学級の友達に親しみをもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

○生活に必要なことを自分でやろうとしたり、困ったときに保育者に伝えようとしたりする。

◆おすすめ絵本◆

『もこもこもこ』 谷川俊太郎・作/元永定正・絵 文研出版

『ころちゃんだんごむし』 高家博成、仲川道子・作 童心社

5 歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

進級してワクワク張り切っている子どもたち。マルチパネルや大きなシャベルなど、新しく使えるようになった遊具で遊ぶことがうれしく、友達と声を掛け合いながら遊ぶ姿が見られます。こいのぼりづくりでは、2人組のグループで、土台や目玉の色は何色にしようか、どんな模様にしようか、と互いに思いを出し合いながら、一緒につくるうれしさを感じています。また、歓迎会や園内探検、避難訓練などのときには、年長児として、らっこ組やぺんぎん組に知っていることを教えてあげたり、案内したりする姿が見られるようになりました。

今月は、井の頭自然文化園への遠足を計画しています。学級の友達と一緒に電車に乗って出掛け、いろいろな動物を見たり、乗り物に乗ったりした経験が、次の遊びへとつながっていくように、援助していきます。

✿今月のねらい✿

○遊びや思いついたことに合わせて素材や遊具を選び、つくって遊ぶことを楽しむ。

○保育者や友達に自分の思いを表しながら一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

○当番活動を楽しみにし、友達と一緒に張り切って取り組む。

◆おすすめ絵本◆

『11ぴきのねこ』 馬場のぼる・作 こぐま社

『せかいいちれいぎただしいかいじゅう ボンバルボン』 キューライス・作 小学館